

OBM マンスリー

2011.6月号 Vol.134

2011 年 6 月 25 日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A 労働災害の撲滅に向けて

山田会長は基本方針の中で「労働災害の撲滅」を大きな柱の一つにされています。6月24日には労働安全大会も開かれます。労働災害をなくすために様々な活動をしている労務委員会の長井正樹委員長（写真）にインタビューしました。



Q 山田会長は労働災害の撲滅を基本方針の2番目に挙げています。労務委員会としても力が入りますね

長井(労務委員長) これまでも労災に対しては委員会でも力を入れてきましたが、今年は特に啓発していきたいと思います。

Q 会長が労働災害を取り上げられたのは、大阪府の労働災害収支率が悪化していることもあるのでしょうか

長井) 確かに労働災害収支率は平成20年度99.3%、平成21年度102.6%と悪化していますが、協会の立場から観ると「非会員企業の事故の発生実態が不明なので、会員企業だけをとって見ればそうではないのでは? 単純に悪化しているといえるのか?」と平成22年度近畿地区収支改善対策会議で兵庫ビルメンテナンス協会が指摘しています。

Q 6月24日に労働安全大会が開かれます。今年の特色は何ですか

長井) 今年の特別講演は、芦屋大学経営教育学部教授で学生部長の西光晴彦氏を講師に、「人材育成と指導者」と題して現場指導者のあり方についてご講演いただきます。また、大阪労働局労働基準部安全課安全専門官の川村昌光氏に「安全はみんなの願い 共に築こう 元気な日本!」と題してご講演いただきます。このほか、会場では「平成22年度労働災害発生状況に関するレポート」を配布したり、「ビルメン体操」「安全衛生標語入選作品表彰式」「抽選会」など盛りだくさんの内容を計画しています。会員企業の皆様もぜひご参加していただきたいと思います。

Q 労災事故撲滅の優秀標語の発表もありますね

長井) 毎年、約4500件の応募があって、その中から選ばれます。同じ企業の社員さん達が何十作品も応募されるなど、この標語に力を入れている企業さんもあるのですよ。

Q 今年度の事業計画を見ますと、労務委員会では転倒・転落災害撲滅のキャンペーンを張るようですね

長井) そうなんです。会員企業の労働災害のうち転倒・転落事故が7割を占めています。高齢者にとっては重大な事故につながりかねません。事故防止の意識の高揚をはかるようなことを考えていきます。

Q 意識の高揚だけでなく、具体的に何か腹案がおりでしょうか

長井) 今、委員会で検討しているところです。よいアイデアがありましたら教えていただきたいですね。

Q 事業計画の中にビルメン体操の普及というのがあります。面白そうですね

長井) 財団法人日本健康スポーツ連盟が考案した体操です。身体の柔軟性を高めて転倒・転落事故の防止につながれば、というものです。簡単にできます。私もやってみて、かなりの効果を感じました。OBMのホームページにも掲載して紹介していますよ。

Q ところでKYTの実務講習会は盛況ですか

長井) 今年も3回予定しています。企業の労務担当者や現場の責任者の方に集まっていただき、安全の先取りの訓練をするものです。20名という少人数で、考えて実践するという講習会ですが、最近は応募者が多く、毎回、定員がすぐに埋まる人気の講習会となっています。

Q 会員企業から労働災害について毎月報告いただくことになっていますが、集まっていますか?

長井) 各社で発生した事例を検証し会員間で情報を共有することで、業界全体として再発を防止したいという思いからの取組です。しかし、現在のところ報告をいただいているのが会員数の3割にも達していないという非常に残念な状況が続いています。少しでも多くの企業に報告していただけるよう、本協会のホームページからも報告用紙をダウンロードできるようにしました。是非ともご協力いただきますようお願いします。

Q ほかに事業計画はたくさんあるそうですね。労働災害撲滅のためにがんばってください

長井) 有難うございます。

23年度 第3回 理事会

5月26日（木）コムズホテル大阪

1. 審議事項

- ①平成23年度通常総会について／承認
- ②平成23年度大阪障害者競技大会開催に伴う後援名義使用及び会場の借用について／承認

③「第8回エルチャレンジセミナー」開催に伴う後援名義使用について／承認

④「第8回エルチャレンジセミナー」発題者依頼について／承認

23年度 第4回 理事会

6月3日（金）協会会議室

1. 審議事項

- ①（一社）関西ガラス外装クリーニング協会からの依頼について／承認

②表彰規程の改正／承認

2. 報告事項

- ①全国協会関係
- ②委員会部会報告

スームアップ

需要を生み出す

今年も昨年同様に暑い夏の訪れを感じる季節となって参りました。

私は、人一倍汗をかきますので、ここ数年この時期になると、必ず買い物するものがあります。ユニクロのドライ肌着、それがより進化してシルキードライインナー（着心地ゼロ肌着）です。

毎朝、引き出しを開けたら、他の肌着を除けて着ている現状です。

これらの製品については、低価格ではなくとも納得して購入してしまっているのです。

商品が常に進化を続け、また、新たに我々のニーズを呼び起こす提案を行っている。「すごいなあ」と感心しながら、改めてユニクロを少し調べてみました。

分かりました、まさに私がハマッてい

る現状は、新たな需要を生み出す努力として【ブルー・オーシャン戦略】と言われる展開がありました。

この戦略は、競争者のいない新たな市場でユーザーに高付加価値、低コストを提供すること、『フリース』をはじめ、保温機能に優れた『ヒートテック』、『プラトップ』、発汗性、防臭性に優れた『シルキードライ』、『サラファイン』など従来の衣料品にはない機能性を持った製品を次々と投入し、新たな需要を掘り起こしてきているようです。

そして、これらの発想をスピードよく展開できる大きなポイントとして、SPA（製造小売業）があります。

SPAとは、企画から製造、販売までの機能を垂直統合したビジネスモデルです。

商品企画・生産・物流・販売までを一貫して行うモデルを他社に先駆けて確立し、無駄を省き製品に転嫁、あるいはお

客様のニーズ把握、高品質な商品開発、販売のあり方まで徹底した仕組みが出来てきています。

改めて、我々ビルメンテナンス業界においては、一つの建物においても、多くの企業関わって運営されている現状があります。

業界や規模が違えばそれぞれですが、関連企業が互いに知恵を出し合い、あらゆる角度から、製品・サービス、省エネ、ECO、安全など、顧客視点に立って提案することはお客様から、重要なヒントを引き出すチャンスとなるのではないのでしょうか。

それぞれの現場において徹底した見渡す⇒発想する⇒実践する（見せる・実感させる）⇒新たな需要を生み出す努力が求められているように感じます。

まだまだ、我々の身近に多くの見えない需要が発掘されずに眠っているのでは？（広報委員 中村 誠）

委員会・部会

経営委員会

5月11日（水）出席者13名 協会会議室

1. 事業計画及び予算について

- ・基本方針について

減少する会員企業数に歯止めを掛け、魅力有る協会にしたい。その為に会員企業が望む事について調査する。

- ・相談窓口について

前回の反省点を踏まえ、会員企業が参加しやすいものにしたい。（7月にテーマ等を決定し、実施する）

- ・企業の研究について

情報年鑑を精査して検討会を実施し、会員企業の皆様に役立つ情報を提供したい。

- ・教育訓練について

前年度同様に講演会についても11月前後に企画する。9月頃にテーマ、会場を決定できるようにする。

- ・関連団体との交流について

ビルディング協会との合同委員会を開催する。テーマを調整する。

- ・経営委員会において

- ・公益委員長の福田理事によるOBM

- の公益活動のレクチャーについて

- ・経営委員会主催の勉強会を上記内容について行うことを計画。

- ・障害者雇用について、啓蒙活動を協会内で行う。

広報委員会

5月18日（水）出席者8名 協会展示室

1. 「OBMこみゅにけーしょんず」盛夏号の掲載内容について意見交換した。

2. 「OBMマンスリー」について今後の編集方針等を確認した。

3. 「OBMマンスリー」H23年5月号の編集作業を実施した。

総務友好委員会

5月19日（木）出席者14名 協会会議室

1. 通常総会について

2. 第7回OBM麻雀大会について

3. 優良社員表彰について

4. 第37回OBMソフトボール大会について抽選会を6月28日（火）14時から実施予定。

5. 新パンフレット（OBM概要等）について

6月2日（木）出席者14名 協会会議室

1. ソフトボール大会について

2. 2011年度表彰式について

優良社員表彰：19社52名、永年委員派遣企業15年：2社、永年委員派遣企業7年：6社、永年委員15年表彰（専門委員）：1名、（委員会・部会）：1名、永年委員7年表彰（専門委員）：1名、（委員会・部会）：6名が決定した。表彰式・パーティーの案内を来週早々に送付予定。

3. 麻雀大会について

年々申込みが少なくなって来ているので、来

年の申込み状況により以後継続していくか検討する。

4. 表彰規程について

第5条と第7条について、6月3日理事会で確認をいただく。

賛助会世話人会

5月18日（水）出席者10名 協会会議室

1. 平成23年度新世話人顔合わせ

2. 23年度事業の確認

①6月実施の正会員様への製品提案、クリニック

・6月16日（木）住友スリーエム（株）、（株）リンレイによる製品提案会実施で決定

②6月の製品提案、クリニック以降の活動について

・賛助会企業への、ミニ展示会／製品提案会の実施希望アンケートをとる。

③世話人メンバーネットワークコミュニケーションの強化

・世話人会メンバーのコミュニケーション徹底のため、メールによる連絡事項の徹底をはかる。

公益・契約事業委員会

5月18日（水）出席者20名 協会会議室

1. 各分科会からの報告

①調査・ネットワーク分科会

会員企業を対象にアンケート調査を実施（5月25日FAX送信）、6月5日回収

②検査基準分科会

インスペクションの在り方（目的と方向性）について

仕様書なしでインペク評価⇒仕様書に補足する必要性を提案

③積算基準分科会

平成23年度の大阪市入札資料を参考に、一

- 般競争入札の実態をデータ化
2. 天神祭お神輿巡行・清掃ボランティアについて
- ①天神祭実行委員会組織図の作成 役割分担について
- 大阪協会全体の行事であるため、各委員からのご協力・ご支援を得る。
- 【今後の日程】
- ・5月30日10時～大阪天満宮・神社庁挨拶 三橋副会長・荒木副委員長・山本理事他
 - ・6月15日10時～挨拶回り
- ②清掃ボランティアのステッカー作成
3. 「障がい者の就業ステップアップ事業」について（5月24日ヒアリング）
4. 平成23年度大阪障害者技能競技大会（アビリンピック2011）について
- ①5月6日エル・チャレンジ支援者スタッフ会議でのデモンストレーションを終えて
- ②今後の進め方について
- 6月21日・22日の2日間、アビリンピックの練習日として開放
- 審査員の決定、今後の進め方について、ビルクリーニング技能検定委員会との打合せ
5. 大阪府立芦原高等職業技術専門学校より、発達障がい者の就業実践受け入れの依頼
6. エル・チャレンジ富田理事長より、「政策入札研究フォーラム」共催への依頼について
7. よりそいネットおおさか総会（6月7日13時30分～）
8. 全大阪労働組合総連合（大阪労連）との面談予定

労務委員会

- 4月15日（金）出席者12名 協会会議室**
1. 労働安全大会について
2. 平成23年度緑十字賞候補者の推薦について 満場一致で道上専門委員の推薦が決定した。
3. 平成22年度労災レポートの発行について 1400部を発行することで決定し、準備を進めることとなった。
4. 転倒・転落災害撲滅キャンペーンについて 安全大会時に川村専門官に当キャンペーンについてお話いただくようお願いする。
5. 労災・通災事故事例の報告について 労災12件・通災3件についての報告があった。

- 5月16日（月）出席者11名 協会会議室**
1. 23年度労働安全大会時に表彰する標語の選定作業について 委員全員で選定作業を行ない、各部門の優秀作1作品と佳作2作品を決定した。
2. 平成23年度緑十字賞候補者推薦について 道上専門委員を推薦した結果、見事に表彰されることとなった。 表彰式は10月12日東京国際フォーラムで中災防より行なわれる。
3. 無災害企業安全表彰について 1年無災害2社、3年無災害3社が表彰対象となっている旨の報告があった。
4. 労働安全大会について 各委員の役割分担等を決定した。
5. 電気設備コース研修会案内及びリスクアセスメント研修の説明
6. K Y T講習会について 6月下旬から7月上旬に実施予定であるとの周知があった。
7. 転倒・転落災害撲滅キャンペーンについて ポスターについて叩き台的なものを作成し、次回の労務委員会に提案するとの報告があった。
8. 労災・通災事故事例の報告について 報告件数62件、労災6件・通災3件について報告があった。

ビルクリーニング部会

- 5月30日（月）出席者21名 協会会議室**
1. 平成23年度ビルクリーニング部会取組み課題について

- ①ビルクリーニング必読書（平成13年2月発行）の再構築（ビルクリーニング用語集の見直し含む）…A班担当
- ②石材、木床、カーペット等メンテナンスのお悩み解決（トラブル事例、対処法）…B班担当
- ③製作スケジュール：平成23年12月迄に概略と骨子文書作成、平成24年4月迄に内容の肉付け・資料類の確認、平成24年9月仮完成、11月迄に校正、12月最終校正、平成25年1月印刷開始～3月全体会議にて発表
2. 取組み内容の検討
- ・A班：ビルクリーニング必読書を利用する対象者を明確にし（現場責任者候補）、主任マニュアルとの整合性に配慮した改訂版の作成を目指す。担当委員は必読書を熟読し、次回A班小委員会時に旧版の問題点や課題を報告すること。
 - ・B班：硬性床材、弾性床材、繊維床材、木床の分類とし、各委員が分担して作成にあたる。

警備防災部会

- 5月13日（金）出席者14名 協会会議室**
1. 5月20日（金）開催の講演会の件
2. 防災実践講座の件
- 今年度は、10月14日（金）と11月9日（水）に実施の予定。

- 5月20日（金）出席者40名 協会会議室**
1. 講演会「大阪府暴力団排除条例」について
2. 講師 大阪府暴力追放推進センター 専務理事 高群哲也様
3. 要旨
- ①暴力団は百戦錬磨でツボを心得ている 彼らの手口にのらない事
- ②講師からの質問…暴力団と警察官どちらが多いと思いますか
- ・参加者の半数以上が暴力団に挙手
 - ・全国 警察官3人に暴力団員1人
 - ・大阪 警察官2人に暴力団員1人
- 南署官内（30数組）暴力団員が多い
- ③やみ金、振り込め詐欺、生活保護 等裏で暗躍している。
- ④悪質な事例の紹介

設備保全部会

- 4月19日（火）出席者17名 協会会議室**
- 設備保全部会第1回委員会**
1. 23年度の事業計画について
- ①基本方針
- ②調査研究に関する事業 定款第4条1号、4号
- ・管理技術調査研究
 - ・非常用設備機器の保守等
 - ・設備保全業務研究
- 設備保全における現状調査アンケートの実施等
- ・環境衛生業務研究
- 環境衛生に関する調査研究等
- ・（社）東京ビルメンテナンス協会との定期情報交換
 - ・設備管理に関する情報の相互交換等
- ③教育および訓練に関する事業 定款第4条2号
- ・研修見学会の実施
- 新しい建築物、設備、製品等についての見学会等
- ・全国協会への支援
- 設備管理インスペクター講習講師の派遣（大阪協会から4名）等
- ④公益に関する関係団体との連絡調整・協力による事業 定款第4条3号
- ・ビル冷暖房自主管理推進協議会
- 大阪市を中心に、関連諸団体が参画し、NOx対策等、環境改善のため活動
- ・（財）大阪府消防設備協会

- 関連諸団体からも参画されており、ビルメンテナンスの立場から参画する。
- ・関西地区証明用電気計器対策委員会
- 近畿経済産業局を中心に関連諸団体が参画、電気用計器の適切な運用を図るため活動する。
- ・大阪府アスベスト飛散防止推進会議
- 関係機関・諸団体の一員として、アスベストの飛散防止策を総合的に推進するため、相互に情報の共有化を図り、飛散防止の実効性確保の活動に参画する。
- ・大阪府住宅まちづくり部建築指導室
- 特定建築物の定期報告について当協会との意見交換会が定期的に開催される。
- ・（社）大阪ビルディング協会
- 省エネルギー研究会（平成20年4月発足）にアドバイザー委員を派遣する。
- ・その他 ボランティア活動・講演会等の参加
- ⑤平成23年度収支予算について
2. 各小委員会活動報告
- （管理技術調査研究）23年度事業計画
- ①LED照明について
- ②非常用電源について
- ③特殊建築定期調査および建築設備定期検査の法改正後の実施状況
- ④BEAMSについて
- ⑤エレベータ閉じ込め事故対応実態
- ⑥インバーターについて
- （設備保全業務研究）23年度事業計画
- 特殊建築物等については設備保全業務研究と重なる部分もあるので、23年度以降は管理技術調査研究と設備保全業務研究と一緒にする考えもある。
- （環境衛生業務研究）23年度事業計画
- ビルの緑化をメインに考えていたが今のところ白紙に戻して小委員会を開催して決めていく。
- （研修・見学会）23年度事業計画
- ①受変電設備に関するリスクマネジメントの観点での講習会
- ②電気事故、安全対策、立ち入り検査結果等、実態を踏まえた「再発防止策」に取り組む観点での講習会
- ③省エネ施策機器（衛生陶器・水洗類機器等）の「ノウハウ」を取得する研修会
- ④省エネおよび省力化施策システム（中央監視装置等）の「ノウハウ」を取得する研修会
- ⑤新築工事および既設建物の新技術・改修施策等の取得を目的に見学会を開催
- ⑥予防保全の観点から「劣化診断」および「LCC」施策提案に向けた勉強会の開催

- 5月10日（火）出席者6名 日本水処理工業（株）**
- 環境衛生業務研究小委員会**
- 平成23年度の調査研究テーマは「ビルの緑化」に決定

- 5月12日（木）出席者3名 協会会議室**
- 管理技術調査研究小委員会**
- 平成23年度の調査研究テーマは「非常用電源について」に決定

- 5月17日（火）出席者17名 協会会議室**
- 設備保全部会第2回委員会**
1. 各小委員会活動報告
- 管理技術調査研究及び環境衛生業務研究小委員会から調査研究テーマの発表があった。
2. 設備保全部会 事業テーマ別分掌表について意見交換

講習会等のお知らせ

◆近畿地区本部

- 平成23年度建築物清掃管理評価資格者2級
1. 作業品質
- ・講習日程 9月27日（火）、28日（水）
 - ・会場 大阪科学技術センター
 - ・定員 50名

- ・受 付 期 間 ネット申請受付期間
6月27日（月）10時～
7月11日（月）17時
郵送申請受付期間
6月27日（月）～
7月11日（月）消印有効
- ・講習受講料 会員63,000円 一般94,500円
（税込、書類・テキスト代込）

2. 組織品質

- ・講習日程 10月18日（火）・19日（水）
- ・会 場 大阪科学技術センター
- ・定 員 50名
- ・受 付 期 間 ネット申請受付期間
6月27日（月）10時～
7月11日（月）17時
郵送申請受付期間
6月27日（月）～
7月11日（月）消印有効
- ・講習受講料 会員55,000円 一般82,500円
（税込、書類・テキスト代込）

1、2とも

- ・修了課題審査料
会員10,000円 一般15,000円
（税込、修了課題書類代込）
- ※会員の場合、J A S M I N I D・パスワード（ネット申請時）が必要です。J A S M I N I D・パスワードの照会はJ A S M I N I Dホームページ、もしくは（社）全国ビルメンテナンス協会事務局【03-3805-7560】J A S M I N I D確認係までご連絡下さい。
- ・申請資格 次の4つの資格のうちいずれかの資格を有していることが必要です。

- ①建築物環境衛生管理技術者
- ②ビルクリーニング技能士
- ③清掃作業監督者
- ④統括管理者

※受講案内は近日中に送達文書にて各企業宛に1部ずつ送付いたします。申し込みは資格総合サイト「ビルメンアビリティセンター」(<http://study.j-bma.or.jp>)にアクセスして、**ネット申請・申請書のダウンロード**をお願いします。郵送申請よりネット申請のほうが優先されますのであらかじめご了承ください。（ネット申請ではJ A S M I N I Dとともにパスワードが必要になりますの

で、（社）全国ビルメンテナンス協会事務局【03-3805-7560】J A S M I N I D確認係へご連絡をお願いします。）申請書の郵送ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

●平成23年度 能力開発セミナーのご案内

①「ビルメンテナンス業の提案営業の実際～新規開拓と受注拡大を実現する～」

- ・開催日時 7月5日（火）～6日（水）
10:00～17:00
- ・受付期間 ～6月27日（月）
- ・定 員 24名
- ・会 場 （一社）大阪ビルメンテナンス協会 研修室
- ・受講料 会員：30,000円 一般：45,000円

②「ビルメン営業スキル強化研修」

- ・開催日時 7月8日（金）～9日（土）
10:00～17:00
- ・受付期間 ～6月27日（月）
- ・定 員 24名
- ・会 場 ビルメンテナンス会館
東京都荒川区西日暮里5-12-5
- ・受講料 会員：30,000円 一般：45,000円

●平成23年度建築物排水管清掃作業従事者研修（大阪会場）のご案内

- ・講習日程 8月2日（火）
9時30分～17時00分
- ・会 場 大阪科学技術センター
大阪市西区靱本町1-8-4
- ・定 員 90名
- ・受講料 13,000円（テキスト代・消費税込）
- ・締 切 7月26日（火）

◆訓練センター

●平成23年度ビルクリーニング科通信訓練単一等級技能士コースご案内

- ・受付期間 7月1日（金）～8月19日（金）
（消印有効）
- ・訓練期間 平成23年10月～平成24年9月
- ・受講科目 学科・実技両科目受講とします。
学科（添削指導6回・集合訓練1回3日間）、実技（集合訓練2回各2日間）
学科修了時試験（全国一斉・半日）
- ・受講資格 ビルクリーニングに関する実務経験が2年以上あること、事業主か

ら推薦を受けた方、ポリッシャー操作が十分に出来ること。

◆（財）ビル管理教育センター

●空気環境測定実施者（再）

平成23年8月18日（木）～19日（金）
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月29日（水）～7月5日（火）

●建築物環境衛生管理技術者

平成23年8月25日（木）～9月15日（木）
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年6月29日（水）～7月5日（火）

●空調給排水管理監督者（新規）

平成23年9月21日（水）～22日（木）
於 阪急千里中央ビル
受付 平成23年8月3日（水）～9日（火）

会員だより

●代表者変更

〔正会員〕

- ・シェル商事株式会社 大阪支店
（新）取締役大阪支店長 伊藤 一夫 様
（旧）取締役大阪支店長 富田伊知郎 様
（平成23年5月より）

- ・神鋼不動産株式会社 大阪支店
（新）大阪支店長 野田 辰則 様
（旧）大阪支店長 宮崎 幸治 様
（平成23年5月より）

- ・東洋ビルメンテナンス株式会社
（新）取締役社長 福田 二郎 様
専務執行役員（大阪支社長）山本 茂文 様
（旧）取締役社長 小菅 泰彦 様
常務執行役員（大阪支社長）山本 茂文 様
（平成23年6月より）

- ・株式会社日放メンテナンス
（新）代表取締役社長 宮崎 研之 様
（旧）代表取締役社長 田中 裕 様
（平成23年6月より）

●住所変更

〔正会員〕

- ・株式会社東和総合サービス
〒550-0011
大阪市西区阿波座1-5-2
第4富士ビル7F
（TEL・FAX番号は変更ありません）
（平成23年6月13日より）

『定期健康診断で救われた命』

理事 佐々木和義

平成18年9月29日、ドーンセンターで労働衛生大会開催準備中に本社から携帯電話に急ぎの連絡が入った。前日の28日に定期健康診断を受診したが、健診医療機関から連絡を受けて至急に不整脈の検査を受けてくださいとのこと。翌日の土曜日、大阪狭山市の総合病院の循環器科で診察を受け、ホルター心電図を身体に着け、24時間の心拍数と血圧を自動的に記録。日常の行動をメモに記録。その検査の結果、「心房細動・心室性頻脈」の判定、頻脈発作は夜中と早朝に発生していた。自覚症状も無く、ただ通勤途中の坂道、階段で息切れがするのが気にはなっていたが、今までも定期健康診断を受診すると必ず「不整脈」の判定が書かれていた。家族が世話になっている近くの医院で心電図検査するも不整脈が出ないので安心していただけ。心房細動の放置は禁物で頻脈発作がでると、心臓内に血栓ができて脳梗塞などの動脈塞栓を引き起こす。予防のために血液を固まりにくくし、血栓症の治療および予防に内服薬ワーファリン（抗凝固薬）など療法で当面経過を見ることになった。

主治医の勧めから大阪府済生会泉尾病院で、「高周波カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）」による治療をすることになり、平成20年1月30日に入院する。ホルター心電図を身

体に装着し、ナースステーションではモニターで24時間の心拍を観察をする。術前検査に心エコー検査などなど胸部レントゲン撮影、採血検査以外は初めての体験をする。結果、特に問題も無くアブレーション治療を2月6日に受けることになった。アブレーションは、局所麻酔後に大腿部から5本、鎖骨から頸部から1本のカテーテルを入れ、右心房から左心房に挿入し、不整脈の原因となる心筋の部位を高周波（50～60℃）で通電加熱し、組織を壊していく。この高周波電流を通電したときに身体が萎縮し、いやな痛みと、身体が熱くなってくる。アブレーションは3時間程度だったが長かった。大阪狭山市の総合病院初診、検査から、大阪府済生会泉尾病院の心房細動アブレーション治療までに時間がかかったのは、主治医から初期成功率は約90%で再発率が30～40%であること。年間に約200例以上の治療をおこなっている。アブレーション治療は知名度が高く信頼できる病院。医療スタッフに私自身は覚悟を決めていたのだが、何時の日か記憶は定かではないが、心臓の模型を使っの治療説明に私の顔色が急変したことが、アブレーション治療の時期を遅らしたようである。後に総合病院の主治医からの話であった。2月13日に順調に快復が進み退院となるが、どうも再発率30～40%に入り再度、平成20年7月5日に入院し、アブレーション治療を受けることになった。以後の定期健康診断受診、大阪狭山市総合病院検査で異常が出ていない。今も主治医に別の治療で毎月一度お世話になっている。

●被災地の協会から義援金の御礼状が届きました。

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会
会 長 山 田 吉 孝 様

平素は、当協会の事業運営に格別のご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、この度の「東日本大震災」により、当協会の多くの会員が、社屋や機材などに大きな被害を受け、業務の遂行に深刻な支障が生じ、さらに取引先の建物の損壊によってメンテナンス業務が縮小したり、或いは契約が打ち切られるなど、大きな影響を受けているところでございます。

そのような中、一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会をはじめとする各都道府県の協会、並びに全協等から、多額の支援金をいただき、心から感謝申し上げる次第でございす。本当にありがとうございます。

当協会としましては、これを機に、新たに特別委員会を立ち上げ、十分な協議を通じまして、透明性と公平性をもって支援金の使途を決定し、本県のビルメンテナンス業の復興に役立てていく所存でございす。

私どもの一日も早い復興こそが、今回ご支援くださいました全国のビルメンテナンス業の仲間や、関係の方々のご厚志に報いることでもありますので、そのことを胸に、全会員が一致団結し、この難局に立ち向かっていく決意であります。

今後とも、変わらぬご協力をいただきますよう重ねてお願いを申し上げます。略儀ではあります。書中をもってお礼申し上げます。

平成23年5月22日

社団法人茨城県ビルメンテナンス協会
会 長 大 山 進

.....
義援金をいただきました各都道府県協会長様

このたびの、東日本大震災に際しまして、貴重な義援金をいただき厚くお礼申し上げます。

いただきました義援金は、被災した会員社、震災により死亡した会員社の職員の弔慰金並びに福島県に届けたいと考えております。

さて、福島県には東京電力福島第一発電所があり、原発近辺の緊急時避難準備区域等の予断を許さない状態にある会員社は、ライフラインこそ復旧したものの現在も様々な規制がかかり難儀している状況です。

さらには、放射線量の問題及び風評被害で福島県内の各業種では廃業社も出始め損失は計り知れません。原発の推移を見守りつつも、今後の復旧への課題は多く、ともすると先に進もうとする意欲さえ失いかねない今、皆様の温かいご支援を支えに県のキャッチフレーズ「うつくしま、ふくしま」の名に負けない美しい自然あふれる福島の地域の復興に努めてまいりたいと考えております。取り急ぎ書面にて御礼申し上げます。

平成23年6月9日

社団法人福島県ビルメンテナンス協会
会 長 飯 澤 建 八 郎

KKCお薦め講習会（7月・8月）

7・8月実施予定のKKC主催の講習会は、次のとおりです。ご受講をご希望の方は早めにお申し込み下さい。講習会場はいずれも新清風ビルです。

●ビル清掃業務入門コース

ビルクリーニング業務の担当になられた初心者、新任者を対象に、清掃の資機材の扱い方から、マナー、安全など、クリーンクルーとして必要な最低限の清掃作業の基本を身に付けていただくための講習会です。ベテランの講師が実技を交えて、丁寧に指導します。

（3ヶ月毎の開催としており、今回は11月開催となります。）

＜対 象＞ ビルクリーニング業務担当の初心者、新任者

＜日 時＞ 平成23年7月15日（金）
午前9時～午後5時

●第一種衛生管理者受験準備講座

第一種衛生管理者の免許取得を目指す方のために、出題ポイントの傾向等を解説し、模擬問題を使用し、短時間で合格水準までの実力を養成します。本年10月15日（土）大阪出張特別試験に合わせた講座です。本講習会は高い合格率を維持しています。

＜対 象＞ 第一種衛生管理者試験受験予定者

＜日 時＞ 平成23年7月12日（火）、14日（木）、20日（水）、
22日（金）の4日間とも
午前9時30分～午後4時30分

●新規開講：「清掃リスクアセスメント研修会」

労働安全衛生法では、リスクアセスメントを実施し、その結果に基づきリスク軽減措置を講ずることが、事業者の努力義務となっております。この研修会では、座学だけでなく小

グループに分かれて演習を通じて体験をしていただくので、たいへん理解しやすくなっております。労働災害防止に有効なリスクアセスメント研修会の受講により、ビルクリーニングにおける安全、安心な業務の推進を図ってください。

＜日 時＞ 7月21日（木） 午後2時～4時30分

●新規開講：「マンション管理業務主任者受験対策セミナー」

最近の出題傾向であるひっかけにかからないよう、広く知識を身に付けていただき、合格を勝ち取っていただくために、受験と合格を経験した講師が、過去問題の徹底分析と解説により、20日間にわたり合格に至るノウハウを伝授いたします。

＜日 時＞ 8月2日～10月28日までの火曜、金曜で計20日間
時間 午後1時～5時

●清掃作業従事者研修（レディスコース）

ビルクリーニングの現場主任は、本社と現場をつなぐ要の役割を果たしています。また、現場では男女を問わず様々な年齢の従事者を指導してまとめあげ、日々の業務をスムーズに遂行しなければなりません。このコースは、特に女性の主任やリーダー的立場にある人、又はその候補者に、清掃業務の正しい知識や基本を学んでいただくことをねらいに、「清掃作業従事者研修」として実施するものです。

＜日 時＞ 8月3日（水）・4日（木） 2日間とも午後
1時～5時

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター
教育訓練部

電 話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

E-mail:bmkkc.swan.ocn.ne.jp

O B M行事予定

6月	25	土	
	26	日	
	27	月	設備保全部会研修会
	28	火	ソフトボール大会抽選会
	29	水	ビルクリーニング部会 KKC現場主任養成コース①
7月	30	木	KYT(危険予知訓練)実務講習会
	1	金	理事会 KKC現場主任養成コース②
	2	土	第2種電気工事士受験対策講座(エビスビルAAホール)
	3	日	〃
	4	月	ビル設備検定水準調整会議
	5	火	能力開発セミナー KKC現場主任養成コース③
	6	水	〃
	7	木	優良社員表彰式(ホテルコムズ大阪) KKC現場主任養成コース④
	8	金	
	9	土	アビリンピック大阪大会
	10	日	
	11	月	ビル設備管理科訓練水準調整会議
	12	火	ビル設備管理科訓練2級技能士コース実技集合訓練(～13日) KKC 第1種衛生管理者受験準備講座①
	13	水	広報委員会
	14	木	KKC 第1種衛生管理者受験準備講座②
	15	金	KKC ビル清掃業務入門コース
	16	土	
	17	日	ソフトボール大会(万博公園スポーツ広場)
	18	月	
	19	火	
	20	水	公益・契約事業委員会 KKC 第1種衛生管理者受験準備講座③
	21	木	KKC リスクアセスメント研修会
	22	金	KKC 第1種衛生管理者受験準備講座④
	23	土	天神祭神輿ボランティア
	24	日	天神祭清掃ボランティア(～26日早朝)

大阪労働局からのお知らせ

事業主の皆様へ、労働保険＜労災保険・雇用保険＞の
年度更新手続は

7月11日(月)までに

お済ませください。

《お問合せ・ご相談》

(申告書の記入方法) 労働保険適用課 06-4790-6340
(保険料の納付) 労働保険徴収課 06-4790-6330
(記入方法・納付) 労働保険事務組合室 06-4790-6350
または、最寄りの労働基準監督署まで

◎電子申請もご利用ください◎
電子政府の総合窓口 e-Gov(イ・ガブ)
(<http://www.e-gov.go.jp>)

大阪労働局ホームページ <http://osaka-rodou.go.jp/>

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの
投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、
俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16～19行の間に、本
文、会社名、筆者名を全て記入して下
さい。

編集雑感

レアメタル(希少金属)やレアアース(希土類元素)といった言葉を最近良く耳にする。先月も鹿児島湾でレアメタル発見というニュースがあった。今後の日本の経済成長にとってレアメタルは必要不可欠な資源だと言われているが、どれほど重要なものなのだろうか。

非鉄金属の内、レアメタルは産業界での流通量・使用量も少ない希少な金属だ。レアメタルはニッケル、クロム、タングステン、その他の31品目からなり、レアアースはその中の1品目(17元素)とされている。31品目47元素となる。代表的な産地は中国、南アフリカ共和国、オー

ストラリア、ロシア等だが、何といっても中国が最大産出国である。その中国に輸入を頼っている以上、日本の経済成長は中国が握っていると言われてもしかたがない。もし中国が自国の資源確保の為に供給をストップすれば、日本が誇るハイテク製品もつくれなくなるからである。

レアメタルはベースメタル(銅、鉛、亜鉛、アルミニウム、錫などの金属)に添加して合金をつくることに使われている。強度を増したり、錆びにくくしたりする為だ。その他、電子材料・磁性材料・機能性材料にも使われている。ハイテク製品の製造には欠かすことが出来ない。パソコン、携帯電話、家電製品、電気自動車、LED照明、太陽電池パネル

等、幅広く使われている。世界一のレアメタル消費国の日本にとって、レアメタルは欠くことのできない重要な資源の一つだ。

日本は多くの物を輸入に頼っている。自給できるものは極めて少ない。現在、レアメタルの90%以上は中国から輸入している。国内年間消費量は5千トン。その国内年間消費量の180年分が日本国内で発見された。採掘する際の技術的な問題はあがあるが、国内でレアメタルが発見されたことは大きい。海底からレアメタルを取り出す技術が開発できれば自給が可能になる。鹿児島湾での採掘であれば尖閣諸島問題のようなことになる心配はない。まずは中国からレアメタル依存脱却をしてもらいたい。(Y・N)

障害者技能競技大会(アビリンピック) 大阪大会開催のお知らせ

障がい者がさまざまな技能で競い合うアビリンピック、そのビルクリーニング部門が以下で開催されます。

○日 時：2011年7月9日(土) 10:00～
○場 所：大阪ビルメンテナンス協会6階

アビリンピックの詳細については、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構のホームページでご覧いただけます。

<http://www.jeed.or.jp/activity/activity01.html>

ビルメン情報プラザ Obit(オービット) 通信

新刊のご案内

・平成22年度版 建築物エネルギー消費量調査報告書

(社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会
平成23年3月発行
TEL：03-3431-1352
<http://www.bema.or.jp/>



・ビル省エネルギー手法・設備の調査・研究(その7)

〔現場で実践できる省エネ手法について〕
(社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会
平成23年3月発行
TEL：03-3431-1352
<http://www.bema.or.jp/>



・日本環境管理学会大会2011 学術講演梗概集 —第24回研究発表会— 2011年5月20・21日

日本環境管理学会
平成23年5月20日発行
TEL：03-3802-7050
<http://www.riemam.org/>



※ビルメン情報プラザ Obit(オービット)では、閲覧のみになります。

購入ご希望の方は、発行元にお問合せ下さい。

開館時間 10:00～16:00(土・日・祝休)

会議等でご利用に出来ない時もありますので、ご利用の際は事前にお問合せ下さい。